

あらすじとみどころ

■桂川連理柵（かつらがわれんりのしがらみ）



©青木信二

宝暦11年(1761)、京都の桂川において、38歳の男と14歳の少女の水死体発見。殺害されたようですが、すぐに心中事件として浄瑠璃に取り込まれ、歌舞伎となり、歌謡となって広く知られた、お半・長右衛門の物語。その代表的作品が、安永5年(1776)、大坂の北堀江市ノ側の芝居で初演された菅専助の上下二巻の世話物で、今回ご覧いただくのは下の巻、道行は原作にはなく、のちに補われたものです。

長右衛門は、帯屋繁斎の養子で、お絹と結婚して10年、子供はなし。お半は、隣家の、長右衛門の恩人の娘で、幼いときから長右衛門を慕っています。この二人が旅先でやむなく同じ布団に。そして間違いを犯し、お半は妊娠。我が子のようなお半への取り返しのつかない、また、亡き恩人を裏切り、妻にも言い訳できない過ちに、苦悩する長右衛門。

一方、繁斎の後妻とその実子儀兵衛は、店の乗っ取りを画策。長右衛門を追い出そうと、盗みの罪をなすりつけ、旅先での関係を記したお半の手紙を読み上げ、大騒ぎ。追い詰められた長右衛門を救ったのは、噂でお半とのことを知って苦しみながらも、夫を大切に思うお絹でした。

過ちを苦にして長右衛門が自害するのを恐れ、堪えて生きるよう意見する養父、いつまでも夫婦だと訴える妻。けれども、お半の妊娠に加え、もうひとつ、死んで責任を取らねばならない難題を抱えた長右衛門は、既に死を覚悟していました。お半もまた妊娠と長右衛門への叶わぬ恋に悩み、身を投げようと桂川へ。一緒に死ぬのが運命だと悟り、長右衛門も桂川へ…。

眼目となる「帯屋」では、苦悩を内に秘めた長右衛門夫婦や繁斎とは対照的に、派手に、憎々しく、滑稽に動き回る後妻親子と洩垂れ丁稚が、舞台を賑わします。前半の儀兵衛と丁稚のやりとりは、客席を笑いの渦に巻き込むチャリ場として有名。後半はがらりと雰囲気が変わり、深刻で、長右衛門、妻、養父それぞれの心情が胸に迫ります。可憐なお半が長右衛門に背負われて登場する道行にも、ご期待ください。

「人形浄瑠璃 文楽」バスツアー スケジュール (予定)

出発

※市町出発時間は各自異なります。

11:00頃

三重県立美術館 到着

「江戸の美術」解説後、
常設展を自由観覧



12:15頃

三重県総合文化センター 到着

自由
時間

到着後、昼食会場にてお弁当をお渡します。
昼食会場：三重県総合文化センター内(当日ご案内します)

13:00

中ホール開場

13:30

開演

お時間に遅れないように
ご注意ください。

16:00

終演予定

20分後

バス出発

バスツアーは⑤市町を通ります！

三重県総合文化センター

三重県立
美術館

紀北町

尾鷲市

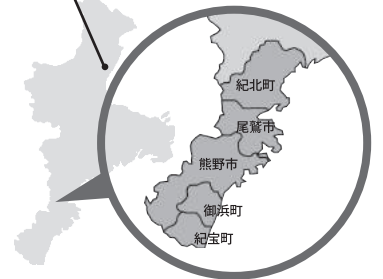
熊野市

御浜町

熊野市

御浜町

紀宝町



イベント開演時間の約5時間前に紀宝町を出発し、開演2時間30分前に到着予定のプランです。



お申込み

三重交通(株)三交テレホンセンター

TEL 059-222-0819 (受付時間：10:00～17:00 無休)

●注意事項

*バスは1席につき往復7,740円(大人・子ども同一料金)です。シアターメイト割引はご利用いただけません。

また、片道だけのご利用及びバス乗車のみのご利用はできません。

*公演チケット購入後にバスツアーへの参加をご希望の場合は、お申込み時にチケットに明記されているお席の番号をお伝えください。

バスのお席に空きがある場合は、バス乗車代および三重県立美術館常設展観覧料、お弁当代のみでご乗車いただけます。

*各乗車地に駐車場はございません。

*「人形浄瑠璃 文楽」公演のお席は指定できません。なお、チケットは到着時にお渡しいたします。

*お申込み状況により、バスの座席をご相席になる場合があります。

また、バスが2台以上発車する場合、乗車地によって、同グループでも違うバスになることがあります。

*お申込みいただけるのは東紀州地域にお住まいの方、お勤めの方に限ります。なお、未就学児のお申込みはできません。

*参加者が20人に満たないときはバスツアーが中止になる場合があります。

*有料チケットのキャンセル及び返金はできませんのでご注意ください。

*指定のバス乗場の乗車時間に遅れますと、ご乗車いただけませんのでご注意ください。乗り遅れた場合のチケットの払い戻しはできませんのでご了承ください。

*交通渋滞、天災などによるバスの遅延により、開始時刻に間に合わなかった場合のバス料金及びチケットの払い戻しは行いませんのでご了承ください。

*「人形浄瑠璃 文楽」の内容に関するお問合せは、三重県文化会館チケットカウンターまで(TEL 059-233-1122)